

山田発

連続写真で街並み再現

津波によって失われた山田町の中心部のかつての街並みを、ドライブするかのように見ることのできる「連続写真」が山田町で公開されています。連続写真はUR都市機構が盛岡で地図データを製作する企業の協力を得て作成したものです。写真は2008年以降に町内6か所を5メートル間隔で撮影したもので、連続写真として編集し車窓からの動画のようになっています。これらは山田町震災復興事業案内所インフォメーションセンターで日曜日を除く毎日公開されています。(4/16 ニュースエコー)



盛岡発

パッチワークキルト展

一針、一針に復興への思いを込めたパッチワークキルトの作品展が盛岡で開かれています。作品展は、県内のパッチワークキルトの愛好家が震災復興のチャリティーを目的に開いていて今回が3回目です。会場には300点余りの作品が展示されていますが、中でも目を引くのは30人で合作した縦・横が3メートル以上の大作「Spring Town」です。この作品は、復興後の街並みをイメージして作られていて、被災した人に少しでも希望を持ってもらおうと明るい色合いの布が使われています。会場では手づくりの小物の販売も行われ、売り上げと入場料は全額「いわての学び希望基金」に寄付されます。(4/16 ニュースエコー)



盛岡発

「おーいお茶」絆プロジェクト

被災地の子どもたちのために役立ててほしいと大手飲料メーカー「伊藤園」が「いわての学び希望基金」に売り上げの一部を寄付しました。伊藤園では東日本大震災で被災した子どもたちの支援事業に毎年寄付を行っていて、今回も『おーいお茶「絆」プロジェクト』による売り上げの一部500万円を寄付しました。伊藤園は今後も支援を続けることにしています。(写真向かって右:伊藤園・森川博行北東北地区営業部長、写真左:千葉茂樹副知事) (4/16 ニュースエコー)



陸前高田発

「復興祈念公園」説明会



陸前高田市に国が県や市と連携して整備を予定している「高田松原津波復興祈念公園」の市民への説明会が行われました。計画の策定後初となる説明会には市民80人が参加し、「震災の教訓を未来に伝えていく」とする基本理念などの説明を受けました。公園は奇跡の一本松を含む130ヘクタールに及ぶ計画で、5年後に一部が完成し利用が始まる予定です。(3/19 ニュース)

大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は大船渡「FMねまらいん」の伊藤こずえさんが、5月4日・5日に開催される「碓石海岸観光まつり」について伝えてくれました。今回は特に「食」に力を入れており、ご当地バーガーはさんまのすり身にマヨネーズと甘辛ソースがマッチング。ほかにも、牡蠣や帆立の炭火焼き、英国料理のフィッシュ&チップスなどが味わえるとのこと。また、第17代つばき娘のお披露目式も行われるということで、「ぜひ大船渡へお出かけください。」と話していました。(4/22)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibt.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122